

令和7年度 金泉小学校 学校経営方針

＜教育目標＞ 希望：夢にむかって がんばろう 共生：助けあい 学びあおう
個性：自分らしさを 出そう

＜重点目標＞ 子どもたち一人一人の自信と意欲を育む

＜合い言葉＞ 「温かい言葉あふれる学校」「やり抜く力のある学校」

＜令和7年度の3つの重点ミッション＞

グランドデザインに示す金泉小学校の3つのプロジェクトの中で、特に重点をかける以下の具体的なミッションを職員の共通課題とし、力を合わせて取り組む。

1 これからの時代に必要となる資質・能力を育む学習指導の充実

- ・学習指導要領の理念を踏まえながら、身に付けさせたい力を明確にし、かかわり合う活動を積極的に取り入れることで、「主体的・対話的で深い学び」を実現する。
- ・全ての教科と教育活動で、文章を読む力と表現力を高める指導を工夫し、継続的に行う。
- ・学校運営協議会や様々な地域の方とのつながりを強め、学習指導を充実させる。

2 子ども理解を基盤においた、温かいかわり合いができる子どもの育成

- ・教育相談を行い、子どもの困り感を受け止め、一人一人の子どもに寄り添った支援と指導を行う。（定期的実施するとともに、必要に応じて随時行う。）
- ・対人関係のスキルを育む指導やプログラムを積極的に行う。「ありがとう」「ごめんなさい」「教えて」という3つの大切な言葉の指導を日常化する。
- ・「花咲山活動」に全校で取り組み、日常的に温かい言葉をかけ合う指導を行う。
- ・ケース会議等を通して、子ども一人一人の深い理解を図る。

3 めあてをもって生活する向上心のある子どもの育成

- ・「金泉小学校の10の生活目標」を学級化・個人化することで、教師も子どもも日常的にめあてを意識して生活できるようにする。
- ・全ての教育活動において、子どもが達成感を味わえるような指導・支援を工夫する。

＜金泉小学校職員として大切にしたい3つの意識＞

子どもの成長にとって最も影響がある教育環境は私たち自身であることを自覚し、以下の3つの意識を高くもち続ける。

1 愛情と責任をもって一人一人の子どもを育てようとする意識

- ・少人数の学校のよさを活かし、全職員で全ての子どもを育てる意識をもつ。
- ・子どもにあった課題を設定し、達成感を味わえるような指導を大切にする。
- ・子どもを一面的に捉えず、対話を通して深く理解しようとする。
- ・保護者の立場に立ち、気持ちに配慮し、連携・協力しながら子どもを育てる。

2 常に向上心と期待感をもって学び、心と技術を磨き続けようとする意識

- ・いくつになっても、どのような立場でも「学び続けること」は私たちの使命であることを忘れず、同僚、書籍、研修会等から、**楽しみながら学ぶ。**

3 職員同士進んで温かい声をかけ、助け合おうとする意識

- ・与えられた仕事だけではなく、学校全体のことを考えて自らできることを進んで行う。
- ・同僚の仕事に関心を持ち、声をかけ合い、確認をし合い、助け合い、ねぎらい合う。
- ・職員全員で知恵を出し合い、働きやすく非違行為を生まない職場環境づくりと働き甲斐改革を進める。
- ・年間を通して「やることリスト」を作成し、仕事を**確実にやりきる。**